

基礎経済科学研究所

大阪第三学科(金融流通協同組合論ゼミ)からのたより

[第897回ゼミ報告] 2025年3月7日号

「カードを持っていない、何百万人の命を賭けの対象に」とトランプゲームの如く発言。「トランプゲームをしているわけではない」と反論、正論！
2月26日ゼミは、佐々木隆治『資本論第3巻』の第7章(最終章)を竹内さんの報告で行いました。資本論体系を総括して経済的三位一体(資本=利子、土地=地代、労働=労賃)を論じる。価値を利潤・地代・労賃の形態に固定化。この生産様式が重層的な神秘化の到達点へと形象化される。剰余価値は平均利潤へ転化され、さらに企業利得と利子へと分裂、さらに土地所有による地代の収奪・骨化へと至り、神秘化は完成する。競争においては事態が転倒して現象し、三位一体の外観が観念だけでなく不動の現実となる。競争は転倒して現象し、分配関係は資本制の生産関係の裏面である。本源的蓄積により形成された社会的諸条件は、私的労働・賃労働の前提となる。物象化による権力と剰余価値生産は、資本制生産を特徴づけ、分配関係が変革され、三大階級が経済的形態で規定される。階級闘争論が「第三部結び」の予定であった。階級概念を生産手段の所有からの「所有基礎論」を批判し、生産関係の産物である経済的形態から規定すべき。階級社会に対し、アソシエートした生産者達が真の自由の国に花開く。「補論」でプラン問題にも触れた。討論では、競争の外観として事態は転倒して現象するというが、労働者にとっては外観というより現実であり、労働者が互いに戦いあうのではなく、団結することが重要である。三大階級を所有基礎論として説いたのはソ連からの影響。封建制はヨーロッパでは農奴制として領主の農地でも働くが、日本の封建制は貢納によって人格が縛られず、農奴制ではない、と。
会場参加は川口さん・山口さん・高田、オンライン参加は斎藤さん・竹内さん・田中さん・後藤さんの合計7名の参加でした。

* 3月12日(第2週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 816 9344 3695 パスコード: 559258

* 『資本論第3巻』著者「佐々木隆治さんと語る会」は3月26日(水)午後5時半～8時、オンライン併用で行います。所員・所友の方々も参加できます。参加希望の方は、事前にメールでお申込み下さい：

・申込締切3月18日：メールあて先：ytakada@kcn.ne.jp

* 前回で佐々木『資本論第3巻』最終章終わり、3月後半は「語る会」の予定です。その次のテキストへの推薦本を募ります。ご提案ください。

***** ゼミ日程 *****

3月12日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
グレーバー『万物の黎明』2章(残り)と【イロコイ民主制】報告：竹内さん
3月26日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
『資本論第3巻』著者「佐々木隆治さんと語る会」
4月9日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
グレーバー『万物の黎明』3章 氷河期… 4章自由民… 報告者未定
その後 4/23, 5/14, 5/28, 6/11, 6/25, 7/9, 7/23

◇第三学科事務局/高田好章：ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755
HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso